

局所再発と全身多発転移を伴う猫の両側性肛門囊腺癌

斑目広郎^{1)†} 広瀬 学²⁾ 広瀬みさき²⁾ 佐藤加奈子¹⁾
森 恵¹⁾ 山田一孝³⁾



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/76/8/76_e183_/article-char/ja

- 1) 麻布大学附属動物病院 (〒 252-5201 相模原市中央区淵野辺 1-17-71)
- 2) 神奈川県 開業 (グローバル動物病院: 〒 232-0021 横浜市南区真金町 1-7-38-106)
- 3) 麻布大学獣医学部 (〒 252-5201 相模原市中央区淵野辺 1-17-71)

(2023年2月27日受付・2023年4月17日受理・2023年8月5日公開)

要 約

16歳齢、避妊雌猫が肛門左側にできた潰瘍化した皮膚腫瘍を主訴に個人動物病院に来院した。切除腫瘍の病理組織学的検査を実施し、肛門囊腺癌と診断後、第82病日に死亡した。死後CT後に病理解剖を実施し、局所再発と全身多発転移を伴う両側性肛門囊腺癌と診断した。——キーワード：猫の両側性肛門囊腺癌，局所再発，全身多発転移。

----- 日獣会誌 76, e183～e186 (2023)